

都立高校の現状把握に関する調査の結果について

1 調査の目的

都立高校に対する都民や企業・大学等の評価について分析するとともに、都民や企業・大学等の都立高校に対するニーズを把握し、今後の都立高校の在り方の検討の参考とする。

2 調査の概要

(1) 都立高校に関する都民意識調査

①都民対象【基本調査】	②企業・大学等対象【付帯調査】
<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内に居住する19～60歳の方 2,500人 都内に居住する高校生 500人 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 都立高校に対する印象 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきこと これからの都立高校はどうあるべきか <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 1,152票 (回収率38.4%) 	<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内で営業する企業 300社 都内の大学・短期大学 100校 都内の専門学校 100校 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 都立高校に対する印象 社会のグローバル化に伴い都立高校で取り組むべきこと これからの都立高校はどうあるべきか <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 213票 (回収率42.6%)

(2) 生徒に対する意識調査

①都立高校生意識調査【付帯調査】	②都内公立中生意識調査【付帯調査】
<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都立高校生（2年生）等 8,870人 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 都立高校は自分の期待に込えているか <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 7,583票 (回収率85.5%) 	<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内公立中学生（3年生） 8,080人 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 高校を選ぶときに大切だと思うこと <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 6,672票 (回収率82.6%)

(3) 保護者に対する意識調査

都内公立小・中学生保護者意識調査【付帯調査】	
<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内公立小学生の保護者 1,360人 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供の義務教育終了後の第一志望の進路 <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 732票 (回収率53.8%) 	<p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内公立中学生の保護者 700人 <p><主な調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供の義務教育終了後の第一志望の進路 <p><調査票回収数></p> <ul style="list-style-type: none"> 442票 (回収率63.1%)

- ※ 基本調査は平成8年度から5年ごとに実施
- ※ 付帯調査は基本調査の実施に合わせ、必要性に応じて実施

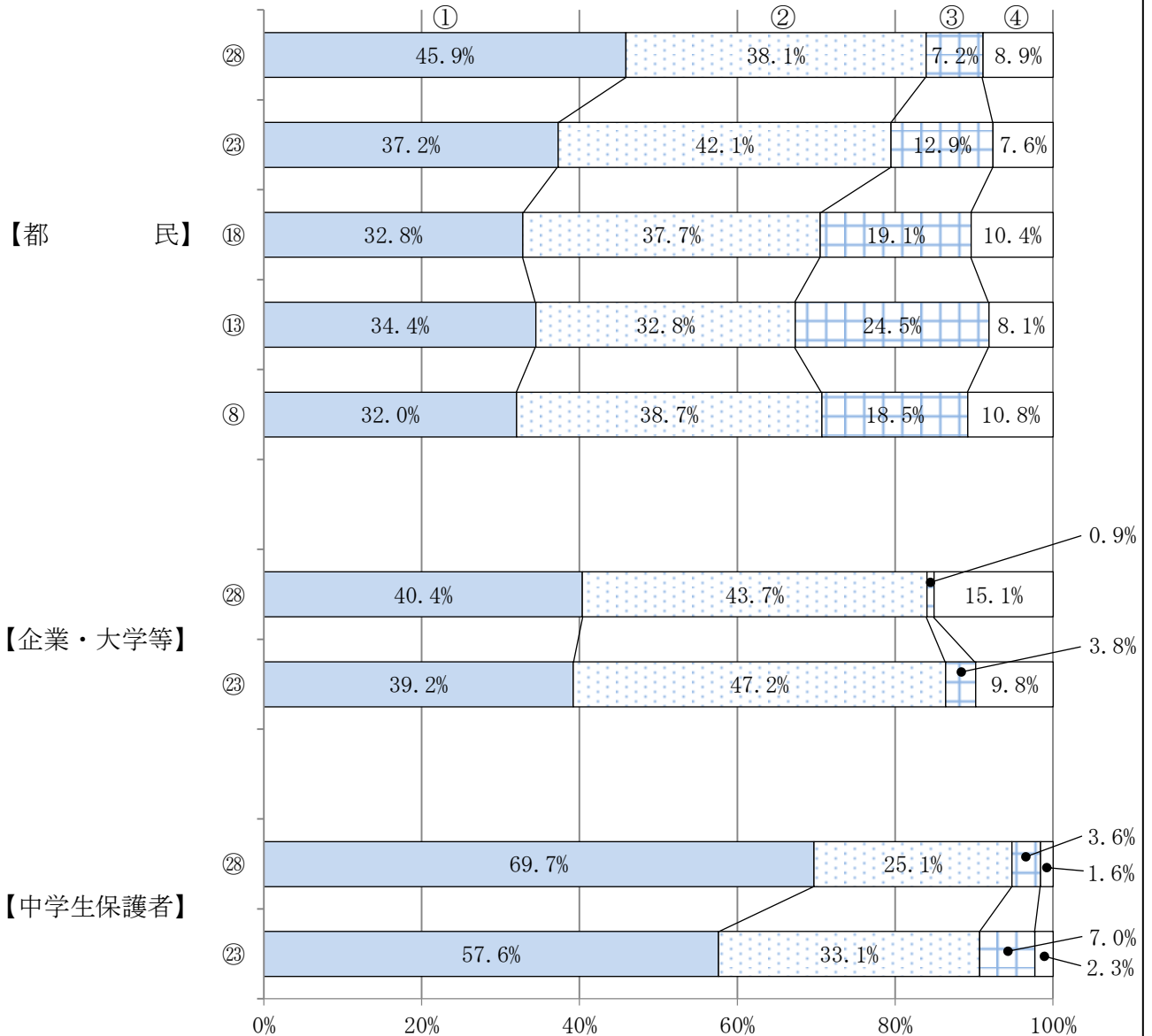
3 調査結果の概要

(1) 都立高校に対する評価について

- 都立高校に対する都民の印象は着実に向上している。
(参考：平成9年度から都立高校改革推進計画を策定し、継続的に取組を展開)
- 特に、中学生保護者の都立高校に対する印象については、肯定的回答の割合が前回(平成23年度)調査から10ポイント以上増加している。

図1 都立高校に対する印象
【都民、企業・大学等、都内公立中学生保護者(回答選択数…一つ)】

① 良い印象がある・どちらかと言うと良い印象がある ② どちらとも言えない
③ どちらかと言うと悪い印象がある・悪い印象がある ④ 分からない・無回答

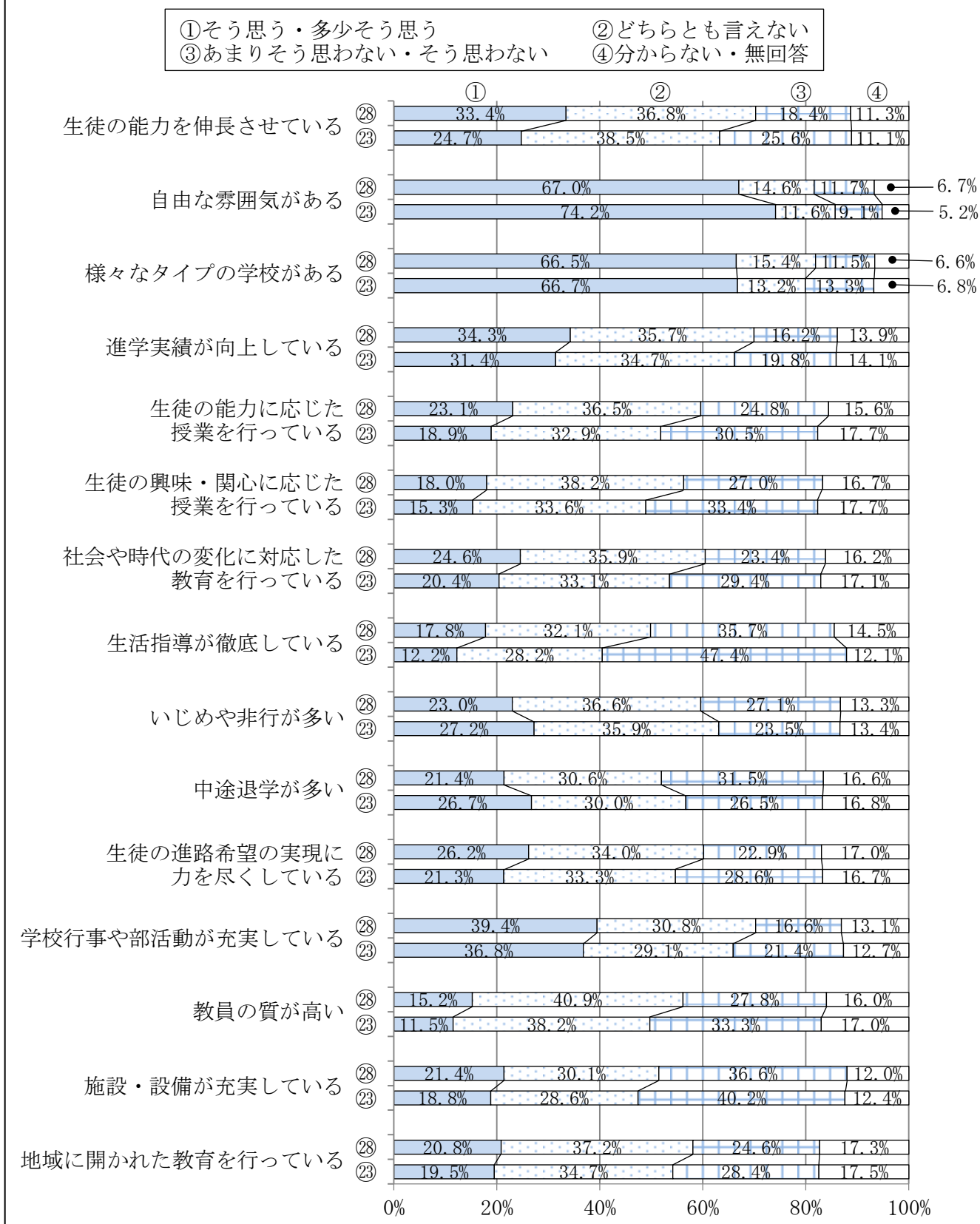


※ 回答比率(%)は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

※ 28=平成28年度、23=平成23年度、18=平成18年度、13=平成13年度、8=平成8年度

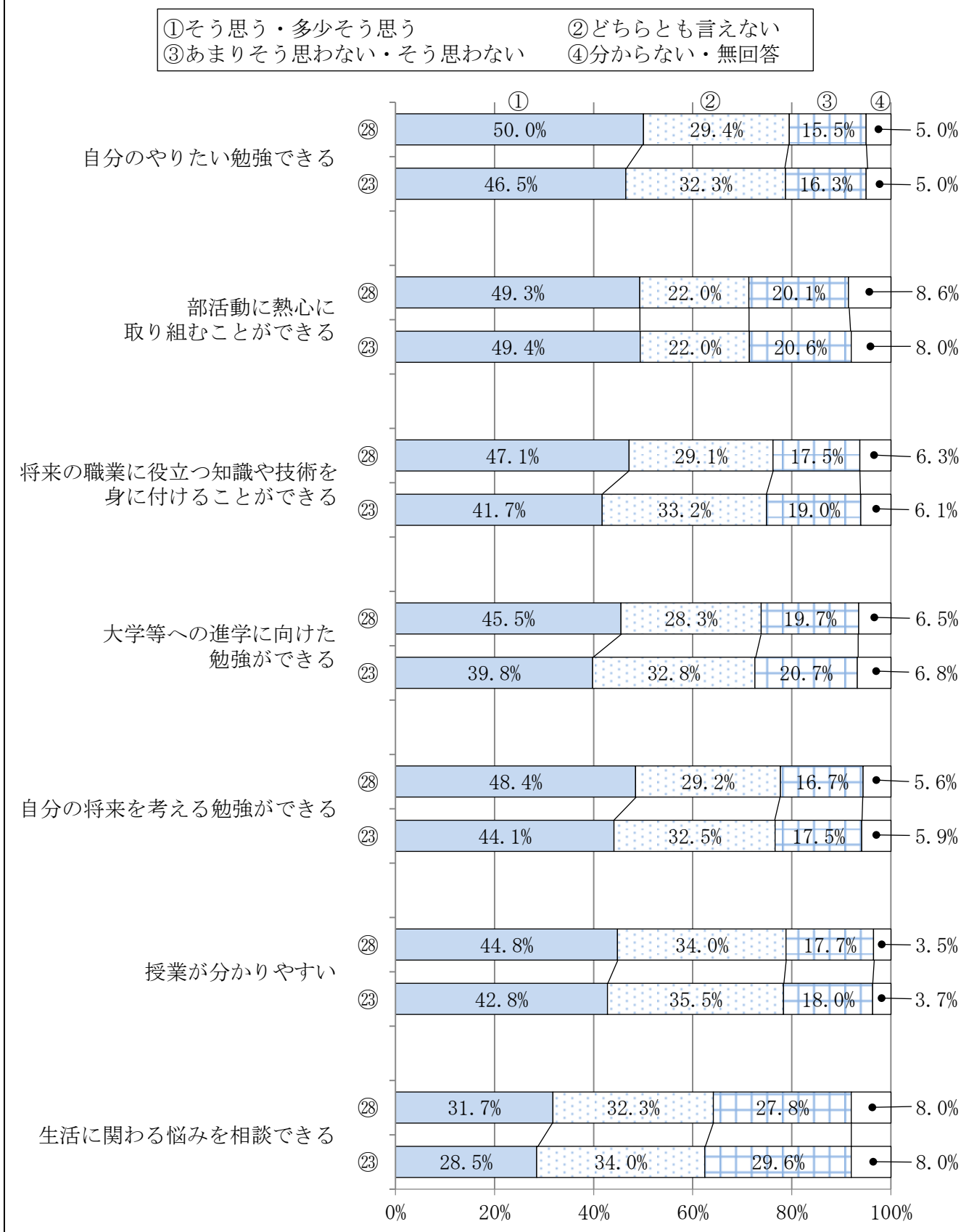
- 具体的な印象について見ると、「生徒の能力を伸ばさせている」に対する肯定的回答の割合が前回調査から約9ポイント増加し、増加幅が最も大きい項目となっている。
- 一方、否定的回答の割合が最も減少した項目は「生活指導が徹底している」であり、前回調査から10ポイント以上の減少が見られる。

図2 都立高校に対する印象（項目別）【都民（回答選択数…項目ごとに一つ）】



○ また、都立高校生の評価として、都立高校が自分の期待に応じていると感じている生徒の割合が前回調査からほぼ全ての項目で増加するとともに、期待に応じていないと感じている生徒の割合が全ての項目で減少している。

図3 自分の期待に学校が応えているか【都立高校生（回答選択数…項目ごとに一つ）】



(2) 都立高校を選択する理由について

- 保護者が子供の進学先として都立高校を選択する理由としては、前回調査と同様に、教育費負担の観点からの回答の割合が最も高くなっているが、中学生の保護者では減少が見られる。
- 一方、公立中学生の半数以上が学習指導面の充実を重要視しており、また、大学への進学実績を重要視する生徒の割合も増加している。

図4 子供の進学先として都立高校を選択する理由（上位3（4）項目）
【都内公立小・中学生保護者（回答選択数…三つ）】

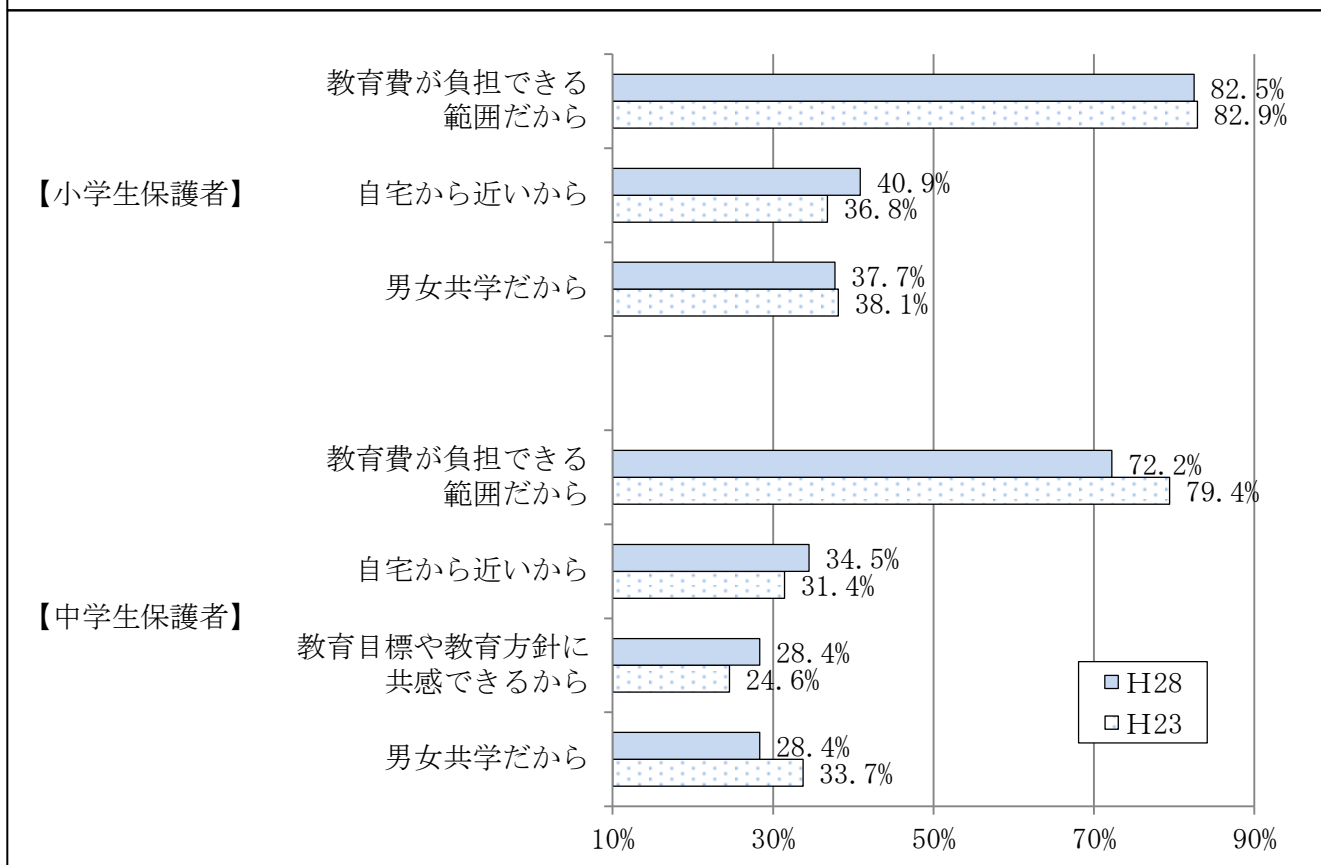
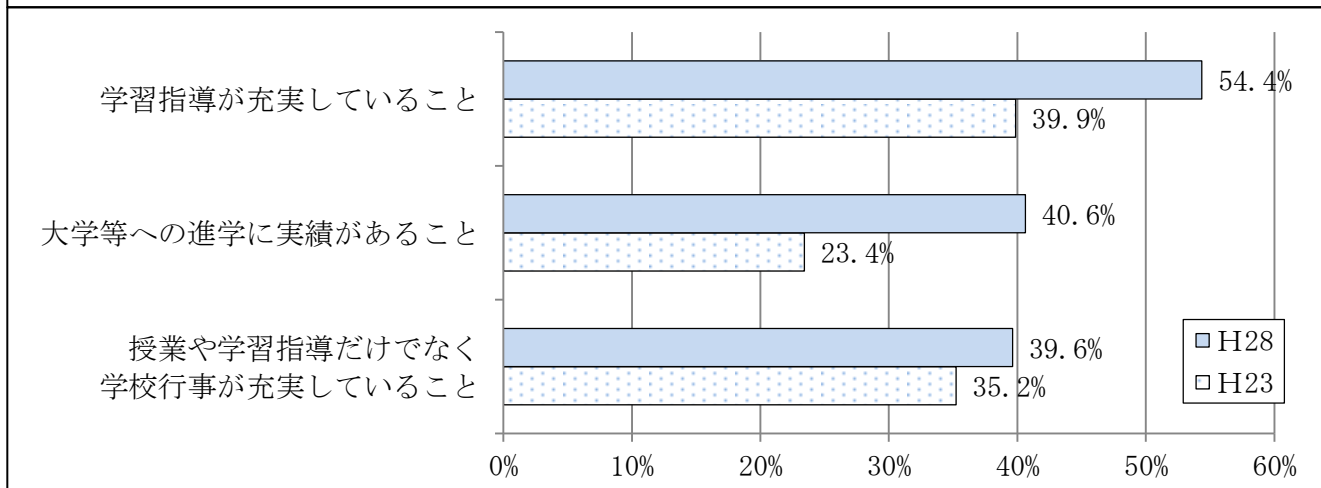


図5 高校を選ぶときに大切だと思うこと（上位3項目）
【都内公立中学生（回答選択数…三つ）】



(4) 都立高校生の職業や将来に対する意識について

- 将来の具体的な職業を考え始める都立高校生の割合が前回調査より増加している。
- 約7割の都立高校生が将来の夢や目標を持っており、「2020年に向けた実行プラン」における目標値（平成33年度）との差は13ポイントとなっている。
- また、希望どおりの仕事ができない場合の離職を肯定する都立高校生の割合が前回調査から増加している。

図9 将来の具体的な職業を初めて考えた時期【都立高校生（回答選択数…一つ）】

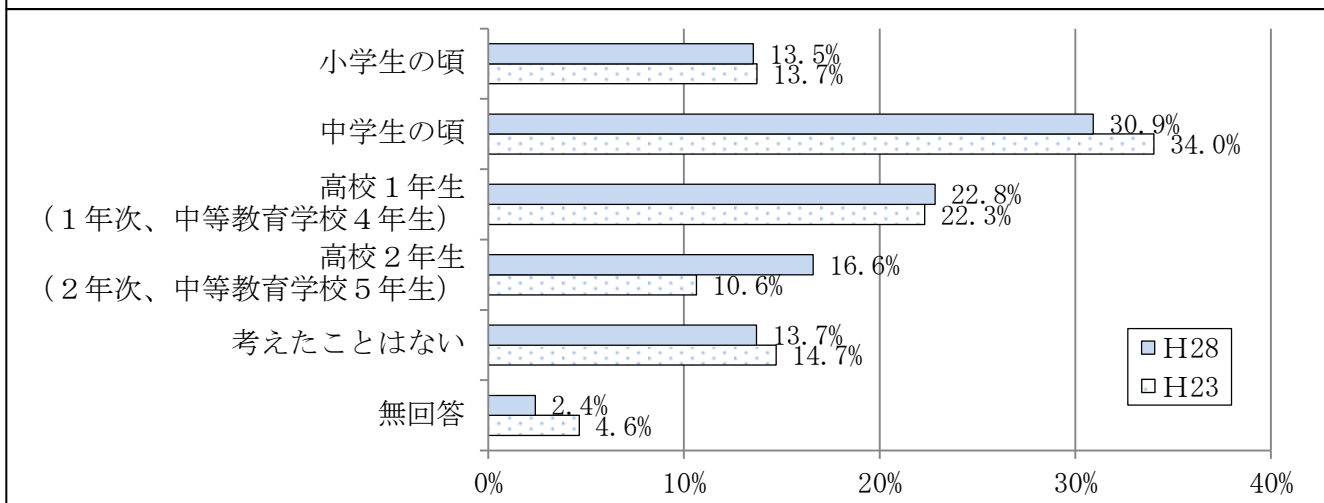


図10 将来についての夢や目標の有無【都立高校生】

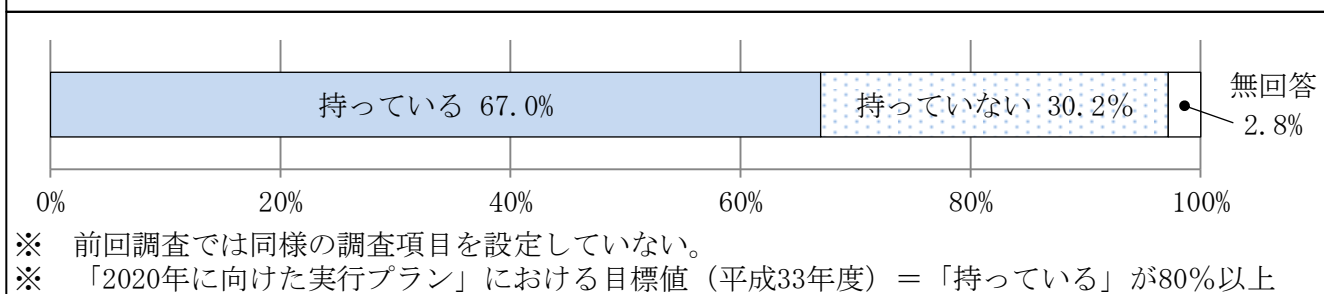
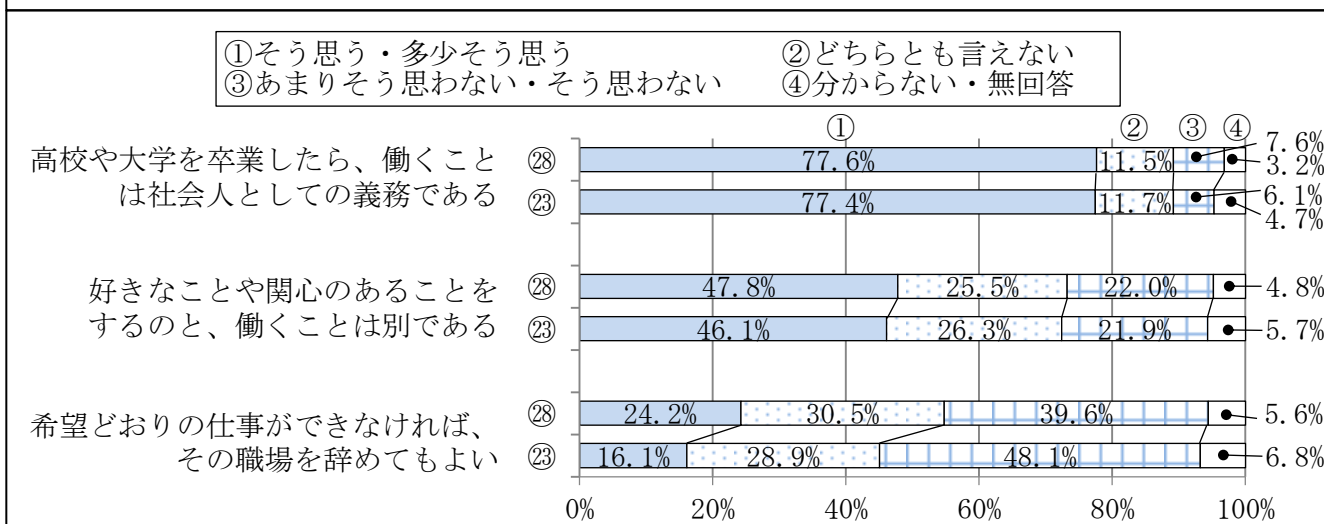


図11 仕事に対する考え【都立高校生（回答選択数…項目ごとに一つ）】



(5) 都立高校生の国際感覚について

- 留学したいと思う都立高校生の割合が前回調査から増加している一方、外国の人々と進んでコミュニケーションをとりたいと思う生徒はやや減少している。
- また、4割近くの都立高校生が、日本の伝統・文化に興味・関心を持っていないと回答している。
- 一方、グローバル化に伴って企業・大学等が都立高校で取り組むべきと考えることとしては、「多様な社会や文化の理解」や「日本の伝統や文化の理解」の割合が高い。

図12 国際感覚に関する意識【都立高校生（回答選択数…項目ごとに一つ）】

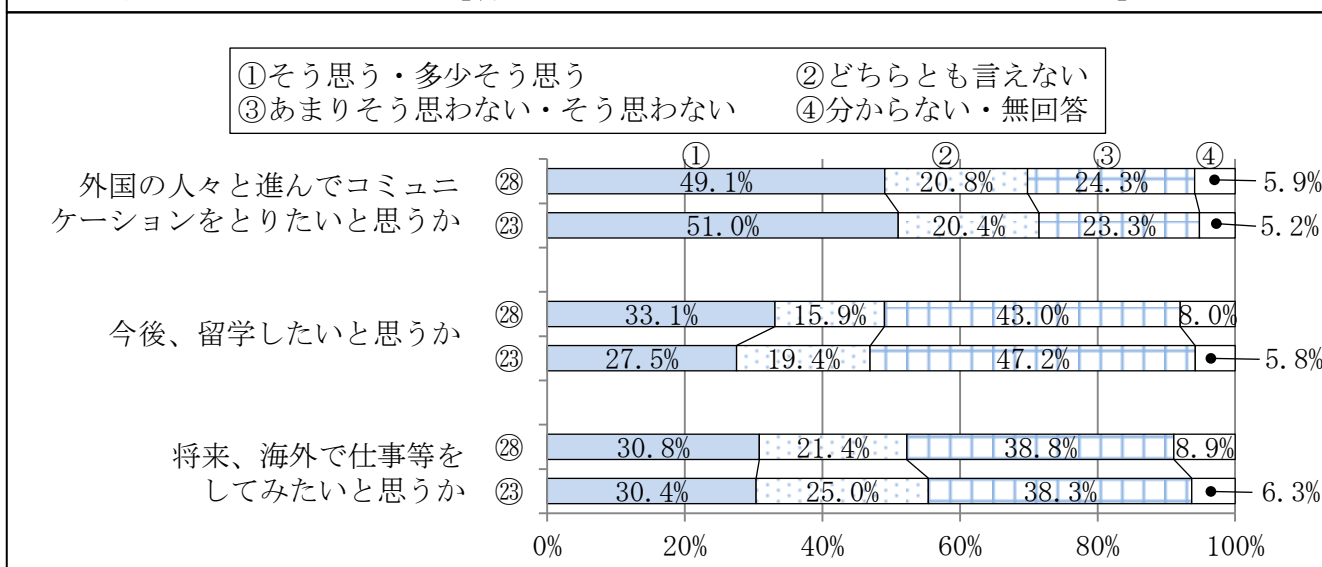


図13 日本の伝統・文化に対する興味・関心の有無【都立高校生】

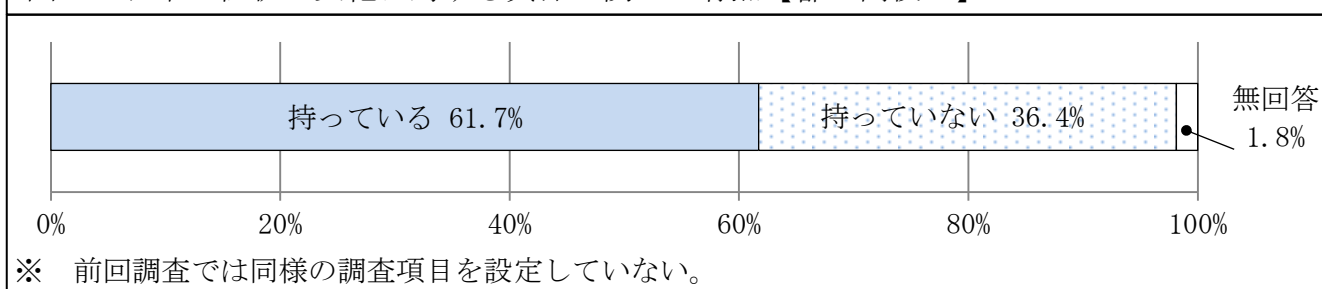
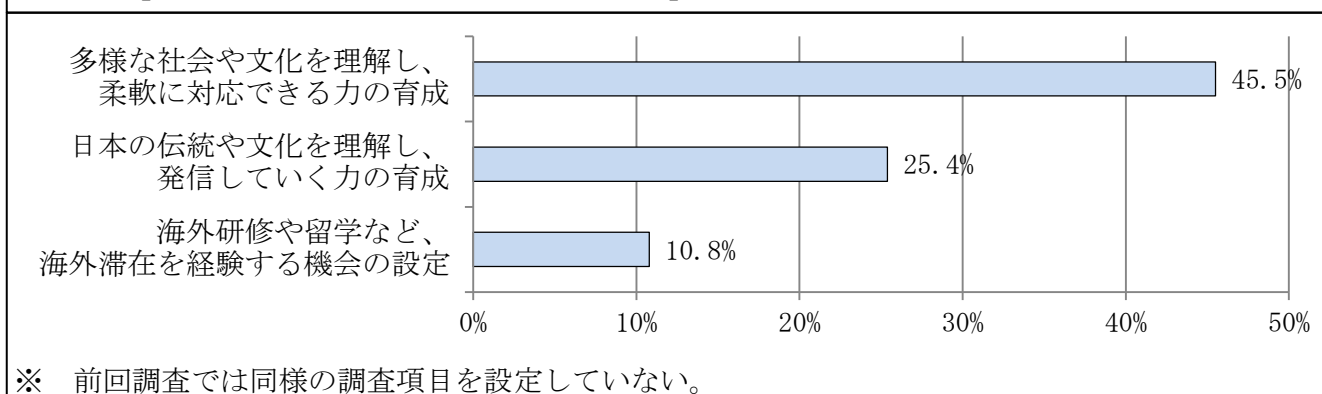


図14 社会のグローバル化に伴い都立高校で取り組むべきこと（上位3項目）【企業・大学等（回答選択数…一つ）】



(6) 都立高校生の社会貢献意識について

- 「学校の授業以外に社会貢献活動を行っている都立高校生」や「今後、社会貢献活動を行いたいと思う都立高校生」の割合は前回調査から減少している。
- 一方、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校生が経験したいこととしては、「スポーツ大会等におけるボランティア活動」の割合が最も高い。
- また、都民が東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきことについても、「ボランティア活動への参加」の割合が最も高い。

図15 社会貢献活動の状況【都立高校生（回答選択数…一つ）】

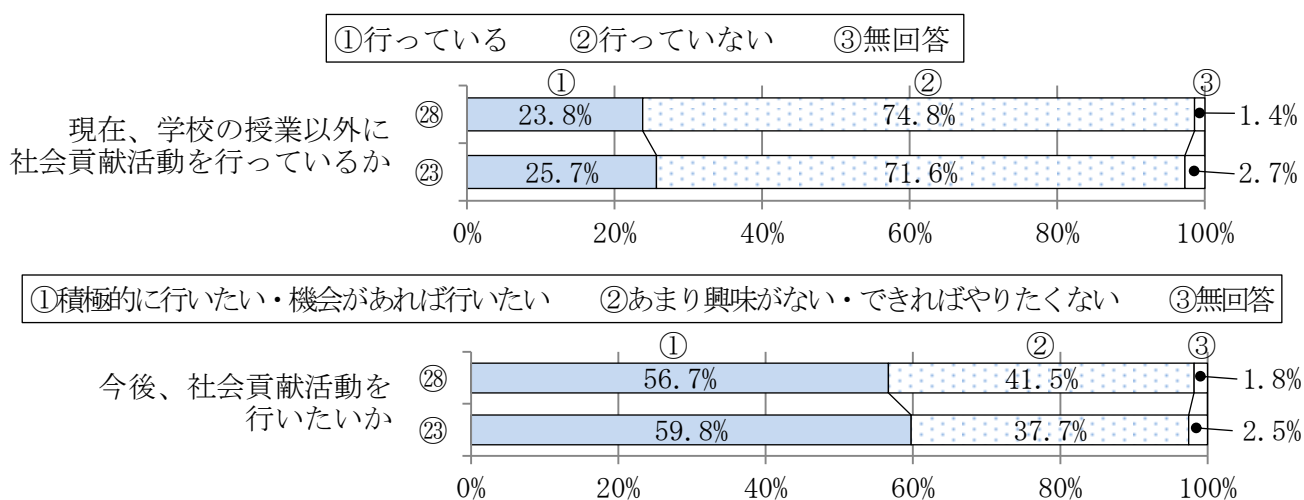
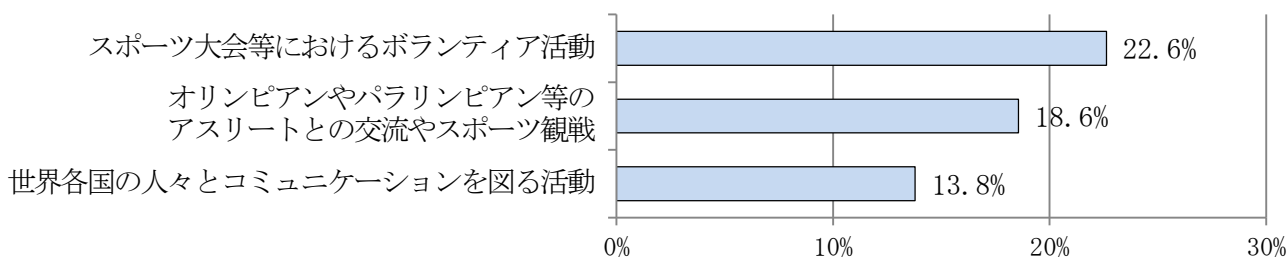
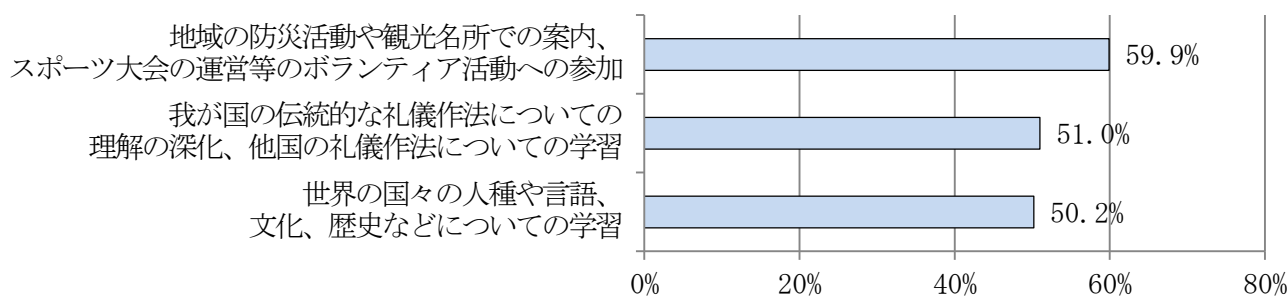


図16 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて経験したいこと（上位3項目）【都立高校生（回答選択数…一つ）】



※ 前回調査では同様の調査項目を設定していない。

図17 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきこと（上位3項目）【都民（回答選択数…三つ）】

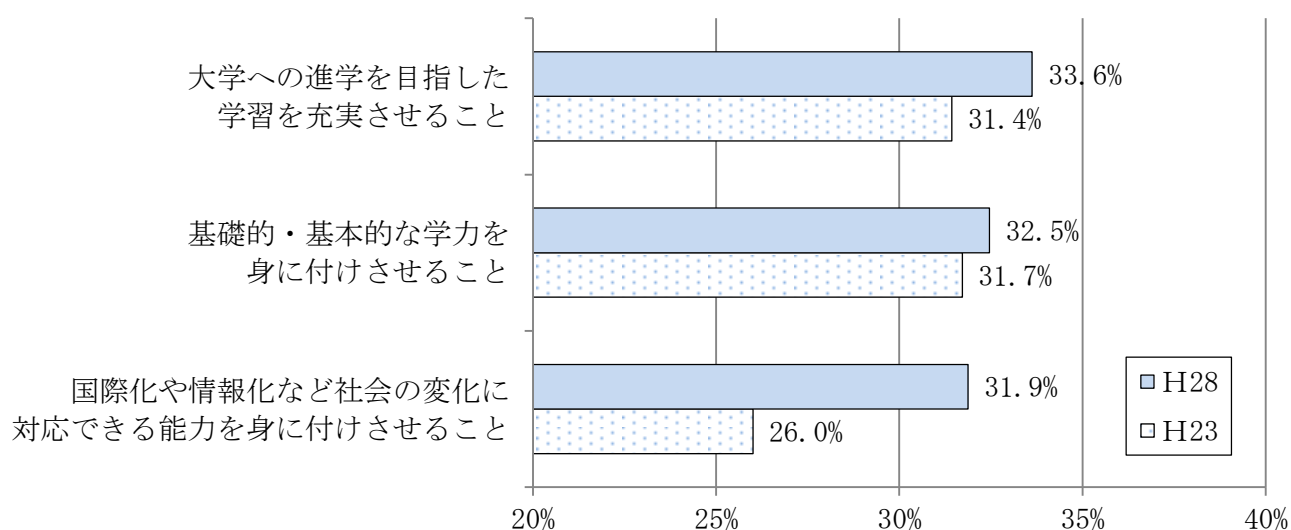


※ 前回調査では同様の調査項目を設定していない。

(7) 今後の都立高校の在り方について

- 中学生の保護者が都立高校において更に伸ばすべきと考えることとして、「社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること」の割合が前回調査から最も増加している。
- 都立高校の今後の在り方に対する自由意見として、「グローバル社会への対応」や「生徒の人間性や社会性の育成」に関する内容が複数寄せられている。

図18 都立高校の良い点で今後更に伸ばすべきと思うこと（上位3項目）
【都内公立中学生保護者（回答選択数…三つ）】



今後の都立高校の在り方に関する主な自由意見【都民、都内の企業・大学等】

【都民】

- グローバル社会に対応する外国語教育や日本の文化を身に付ける教育を望む。
- 人間性を育てる教育をしてほしい。
- 日本人としてのマナーや教養を身に付ける教育をしてほしい。
- 塾に頼らない受験対策を望む。

【企業】

- 都立高校一校一校がもっと特色を出すべき。
- 国際化が進む中、グローバルな対応を望む。
- 社会に直結した教育プログラムが望ましい。

【大学等】

- 柔軟な心を持った生徒を育成してほしい。
- 「自らの生き方を決め、前に進む力」を養ってほしい。
- 高校生のうちに基礎学力（特に数学）を徹底的に身に付けさせてほしい。